

医大協ニュース

岩手医科大学

《役職者の人事》

◎理事長

祖父江憲治（新任）
令和6年3月12日付

◎学長

小笠原邦昭（新任）

◎副学長

酒井明夫（再任）
以上、令和6年4月1日付

《教授の人事》

◎医学部内科学講座呼吸器内科分野

川田一郎
令和5年11月1日付

◎医学部麻酔学講座（特任）

熊谷 基
令和5年12月1日付

◎医学部臨床遺伝学科

鈴森伸宏

◎統合基礎講座解剖学講座人体発生学分野

木村英二
以上、令和6年4月1日付

《名誉教授の称号授与》

◎医学部臨床検査医学・感染症学講座

諏訪部章

◎統合基礎講座解剖学講座人体発生学分野

人見次郎
以上、令和6年4月1日付

日本大学

《人事異動》

◎事務局長

石崎和文
令和5年5月10日付

◎教授就任

三浦義正（日本大学病院消化器
肝臓内科）

令和6年2月1日付
相澤志保子（病態病理学系微生物学分野）
令和6年4月1日付

日本医科大学

《法人役員》

◎理事長

坂本篤裕（再任）

◎常務理事

鈴木秀典（再任）
汲田伸一郎（再任）
弦間昭彦（再任）

◎理事

阿久澤良造（再任）
猪口正孝（再任）
汲田伸一郎（再任）
坂本篤裕（再任）
柴由美子（再任）
鈴木秀典（再任）
大久保善朗（再任）
谷合信彦（新任）
中井章人（再任）

別所竜蔵（新任）

三浦公嗣（再任）

山中伸一（再任）

◎監事

藤井敬之（再任）
以上、令和5年12月17日付

《人事》

◎医学部長

近藤幸尋（新任）
令和6年4月1日付

◎副医学部長

小川 令（新任）
令和5年10月1日付

◎基礎科学主任

中村成夫（再任）

◎大学院教授

加藤大輔（感覚情報科学分野）
高木 元（総合医療・健康科学分野）
石川真士（疼痛制御麻酔科学分野）

◎教授

北村義浩（医学教育センター）
岳野光洋（アレルギー膠原病内科学）

◎教授（教育担当）

田嶋華子（小児科学）
松本多絵（小児科学）
荻田あづさ（皮膚科学）
関口敦子（産婦人科学）
戸山友香（泌尿器科学）
以上、令和6年4月1日付

◎特任教授

松山琴音
Deshpande Gautam
南 砂

以上、令和5年10月1日付
山勢博彰

平井 潤

土佐眞美子

貝瀬 満

以上、令和6年4月1日付

◎付属病院院長

汲田伸一郎（再任）

◎武蔵小杉病院院長

谷合信彦（再任）

◎多摩永山病院院長

牧野浩司（新任）

◎千葉北総病院院長

別所竜蔵（再任）

以上、令和6年4月1日付

◎知的財産推進センター長

桑名正隆（再任）

令和5年12月1日付

◎健診医療センター長

今井祥吾（再任）

令和6年1月1日付

◎研究統括センター長

弦間昭彦（再任）

令和6年2月1日付

◎国際交流センター長

小川 令（再任）

◎ICT推進センター長

林 宏光（再任）

◎先端医学研究所所長

福原茂朋（再任）

◎呼吸ケアクリニック所長

日野光紀（再任）

◎ワクチン療法研究施設所長

廣田 薫（再任）

以上、令和6年4月1日付

《定年退職》

◎大学院教授

坂本篤裕（疼痛制御麻酔科学分野）

伊藤保彦（小児・思春期医学分野）

安武正弘（総合医療・健康科学分野）

金田 誠（感覚情報科学分野）

◎教授

船坂陽子（皮膚科学）

浅野 健（小児科学）

◎臨床教授

蒔田益次郎（乳腺外科学）

以上、令和6年3月31日付

《称号授与》

◎名誉教授

坂本篤裕

伊藤保彦

安武正弘

金田 誠

船坂陽子

以上、令和6年4月1日付

《訃報》

岩崎榮学校法人日本医科大学法人顧問は、令和5年10月13日（金）に逝去されました。享年91

吉岡正智学校法人日本医科大学法人顧問・日本医科大学名誉教授・多摩永山病院名誉院長は、令和5年10月29日（日）に逝去されました。享年86

東邦大学

《法人役員》

◎理事就任

池田隆徳（新任）

多田周右（新任）

古田寿昭（再任）

尾立篤子（新任）

《役職者人事》

◎医学部長・医学研究科長就任

池田隆徳（新任）

以上、令和6年4月1日付

《教授人事》

◎教授就任

朝倉敬子（社会医学講座予防医療学分野）

濱崎祐子（腎臓学講座）

以上、令和5年11月1日付

菊池真理（大橋病院放射線科）

令和6年3月1日付

石川慎一（大森病院麻酔科）

牛尾宗貴（耳鼻咽喉科学講座）

大平征宏（内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学分野）

神谷直人（佐倉病院感染対策室）

原 英彦（内科学講座循環器内科学分野）

本間尚子（病院病理学講座）

渡邊美砂（大橋病院小児科）

以上、令和6年4月1日付

◎教授退任

廣井直樹（教育開発室）

令和5年12月31日付

石井良和（微生物・感染症学講座感染制御学分野）

上芝 元（内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学分野）

桂川修一（精神神経医学講座）

佐藤二美（解剖学講座生体構造学分野）

田崎美弥子（心理学研究室）

林 明照（形成外科学講座）

武城英明（臨床検査医学講座）

本多 満（総合診療・救急医学講座）

諸井雅男（内科学講座循環器内科学分野）

以上、令和6年3月31日付

◎名誉教授称号授与

桂川修一

佐藤二美

田崎美弥子

林 明照

以上、令和6年4月1日付

東京医科大学

《法人》

◎理事（就任）

田中信大

◎病院長（就任）

田中信大（八王子医療センター）

以上、令和5年10月1日付

◎病院長（退任）

池田寿昭(八王子医療センター)

令和5年9月30日付

《大学》

◎主任教授(就任)

伊藤美智子(生化学分野)

令和6年1月1日付

◎教授(就任)

田中朝志(八王子医療センター
内科関連分野臨床検査医学科)

令和6年2月1日付

岡本伊作(耳鼻咽喉科・頭頸部
外科学分野)

令和6年3月1日付

倉田 誠(人文科学領域人間学
教室)

田村知子(医学部看護学科)

伊藤友章(皮膚科学分野)

高橋芳久(分子病理学分野)

遠藤寛子(医学部看護学科)

庄田宏文(リウマチ・膠原病内
科学分野)

後藤行延(茨城医療センター外
科系分野呼吸器外科)

以上、令和6年4月1日付

◎臨床教授(就任)

小川 隆(八王子医療センター
外科関連分野歯科口腔外科)

令和5年12月1日付

柳田国夫(茨城医療センター病
院機能関連領域集中治療部)

令和6年3月1日付

◎教授(退任)

本田彰子(医学部看護学科)

池田寿昭(八王子医療センター病
院機能関連領域特定集中治療部)

以上、令和5年9月30日付

秋元治朗(脳神経外科学分野)

令和5年11月30日付

杉本光繁(消化器内視鏡学分野)

令和6年1月31日付

富山博史(循環器内科学分野)

古川欣也(呼吸器・甲状腺外科
科学分野)

勝又健次(消化器・小児外科学

分野)

西田 淳(整形外科科学分野)

大久保ゆかり(皮膚科学分野)

中澤弘一(大学病院集中治療部)

中村博幸(茨城医療センター内
科系分野呼吸器内科)

青柴和徹(茨城医療センター内
科系分野呼吸器内科)

青柳貞一郎(茨城医療センター
外科関連分野泌尿器科)

大塚康司(茨城医療センター外
科関連分野耳鼻咽喉科)

藤村正樹(茨城医療センター外
科関連分野産婦人科)

以上、令和6年3月31日付

◎臨床教授(退任)

三輪 隆(糖尿病・代謝・内分
泌内科学分野)

令和6年3月31日付

東京女子医科大学

《人事異動》

◎法人理事退任

板橋道朗

令和6年3月31日付

◎教授就任

鵜川豊世武(臨床工学科)

令和5年9月28日付

松岡尚史(足立医療センター小
児科)

令和6年1月1日付

松浦勝久(薬理学分野)

中井陽介(消化器内科学分野)

瀬尾幸子(血液内科学分野)

出口敦子(共同先端生命医科学
分野)

橋本弥一郎(放射線腫瘍学分野)

以上、令和6年4月1日付

《教授退任》

有賀 淳(共同先端生命医科学
分野)

唐澤久美子(放射線腫瘍学分野)

北川一夫(脳神経内科学分野)

佐藤麻子(臨床検査科)

徳重克年(消化器内科学分野)

服部元史(腎臓小児科)

馬場園哲也(糖尿病・代謝内科
科学分野)

針谷正祥(膠原病リウマチ内科
科学分野)

松岡雅人(環境・産業医学分野)

丸 義朗(薬理学分野)

三谷昌平(分子細胞生理学分野)

満田年宏(感染制御科)

加藤博之(足立医療センター検
査科)

小森万希子(足立医療センター
麻酔科)

田中 勝(足立医療センター皮
膚科)

巴ひかる(足立医療センター骨
盤底機能再建診療部)

橋本和法(足立医療センター産
婦人科)

長谷川久弥(足立医療センター
周産期新生児診療部)

以上、令和6年3月31日付

《人事》

秋元文夫(事務局長)

令和6年4月1日付

東京慈恵会医科大学

《人事異動》

◎教授

宇和川匡(外科学講座)

藤岡秀一(外科学講座)

以上、令和5年11月1日付

木田康太郎(麻酔科学講座)

令和5年12月1日付

池田圭一(内視鏡医学講座)

令和6年2月1日付

鬼頭伸輔(精神医学講座)

秋元哲夫(大学直属)

新 智文(総合健診・予防医学

【訃報】 慶應義塾大学名誉教授（医学部）、元常任理事、元医学部長 猿田享男先生ご逝去



慶應義塾大学名誉教授（医学部）、元常任理事、元医学部長の猿田享男先生は、令和5年9月20日に逝去され、83歳の生涯を終えられました。1964年に慶應義塾大学医学部卒業、1969年に同大学院修了の後、米国テキサス大学留学などを経て、1986年に慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科教授に着任されました。猿田先生は副腎疾患、内分泌性高血圧という長年追いかけていたテーマを追求するとともに、腎臓病、内分泌・糖尿病領域に幅広く研究を展開し、多くの医師・研究者を育成されました。その後、医学部長、慶應義塾常任理事として、慶應義塾大学医学部の発展に大きな功績を残されました。名誉教授として退任後も、公益財団法人医療研修推進財団理事長、一般社団法人日本臨床

内科医会会長を務められるとともに、文部科学省、厚生労働省、AMEDなどで多くの公職を務められました。日本私立医科大学協会では、教育・研究部会担当理事を務められました。

謹んで哀悼の意を表するとともに、ご報告いたします。

略歴

- 1964年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1969年 慶應義塾大学医学研究科（内科学）修了
- 1973年 慶應義塾大学医学部専任講師
- 1986年 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授
- 1995年 慶應義塾大学医学部長
- 2001年 慶應義塾常任理事
- 2005年 慶應義塾大学名誉教授（医学部）

センター新橋健診センター）
古田 昭（泌尿器科学講座）
堀野哲也（感染制御科）
麻生多聞（人間科学教室社会科学研究室）
海老原孝枝（内科学講座）
佐久間亨（放射線医学講座）
鈴木英明（教育センター）
内富庸介（がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座）
以上、令和6年4月1日付

昭和大学

《就任関係》

◎教授

津本智幸（医学部脳神経外科学講座）（昭和大学藤が丘病院勤務）
今井 敦（医学部放射線医学講座（放射線治療学部門））（昭和大学藤が丘病院勤務）
森岡 幹（医学部産婦人科学講座）（昭和大学藤が丘病院勤務）
以上、令和5年10月1日付

小林 斉（医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）（昭和大学藤が丘病院勤務）（員外）
令和5年10月10日付
木村百合香（医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）（昭和大学江東豊洲病院勤務）（員外）
令和6年1月1日付
田中明彦（医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門）（昭和大学病院勤務）
真田建史（医学部精神医学講座）（昭和大学附属烏山病院勤務）
前濱朝彦（医学部生化学講座）

(昭和大学旗の台校舎勤務)

酒井広隆(医学部内科学講座(血液内科学部門))(昭和大学藤が丘病院勤務)(員外)

◎特任教授

山上裕機(医学部外科学講座(消化器一般外科学部門))(昭和大学病院勤務)

◎名誉教授(授与)

眞田 裕

平野 勉

成島道昭

二木芳人

◎事務局長(就任)

田口彰彦

以上、令和6年4月1日付

《退任関係》

◎教授(定年退職)

宮崎 章(医学部生化学講座)(昭和大学旗の台校舎勤務)(特任教授に就任：昭和大学富士吉田教育部勤務)

相良博典(医学部内科学講座(呼吸器アレルギー内科学部門))(昭和大学病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学病院勤務)

落合正彦(医学部内科学講座(循環器内科学部門))(昭和大学横浜市北部病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学横浜市北部病院循環器内科勤務)

坂下暁子(医学部内科学講座(血液内科学部門))(昭和大学横浜市北部病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学横浜市北部病院内科勤務)

岩波 明(医学部精神医学講座)(昭和大学附属烏山病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学保健医療学部勤務)

永田茂樹(医学部外科学講座(心臓血管外科学部門))(昭和大学藤が丘病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学江東豊洲病院皮

膚科勤務)

加藤光広(医学部小児科学講座(小児内科学部門))(昭和大学病院勤務)(員外)(教授(員外)に再雇用：昭和大学病院小児科勤務)

市川博雄(医学部整形外科学講座)(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院勤務)(員外)(教授(員外)に再雇用：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院内科系診療科勤務)

石田文生(医学部外科学講座(消化器一般外科学部門))(昭和大学横浜市北部病院勤務)(特任教授に就任：昭和大学横浜市北部病院消化器外科勤務)

◎事務局長(退任)

小玉敦司(相談役に就任)

以上、令和6年3月31日付

順天堂大学

◎理事長補佐

新井 一(新任)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎学長

代田浩之(新任)

令和6年4月1日～令和10年3月31日

◎学長特別補佐

木南英紀(再任)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎学長補佐

服部信孝(新任)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎医学部長・大学院医学研究科長

高橋和久(新任)

令和6年4月1日～令和9年3月31日

◎順天堂医院 院長

桑鶴良平(新任)

令和6年4月1日～令和9年3月31日

◎静岡病院 院長

佐藤浩一(再任)

令和6年4月1日～令和8年3月31日

◎浦安病院 院長

田中 裕(再任)

令和6年4月1日～令和8年3月31日

◎順天堂越谷病院 院長

鈴木利人(再任)

令和6年4月1日～令和8年3月31日

◎順天堂東京江東高齢者医療センター 院長

宮内克己(新任)

令和6年4月1日～令和9年3月31日

◎練馬病院 院長

浦尾正彦(再任)

令和6年4月1日～令和8年3月31日

◎教授

野田和幸(神経学(静岡))

藍 智彦(臨床病態検査医学(浦安))

以上、令和5年10月1日付

渡邊 玲(皮膚科学・アレルギー学)

梅村 淳(脳神経外科学)

伊藤智彰(上部消化管外科学(静岡))

以上、令和5年12月1日付

矢野裕一郎(総合診療科学)

令和6年1月1日付

九富五郎(乳腺腫瘍学)

令和6年3月1日付

山岸良匡(公衆衛生学)

石井 暁(脳神経外科学)

近藤 豊(救急・災害医学)

高井俊朗(アトピー疾患研究センター)

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

◎教授定年退職

清水俊明（小児思春・病態学）
山高篤行（小児外科・泌尿生殖器）
三井田孝（臨床病態検査医学）
鈴木 勉（医学教育学）
梶山美明（上部消化管外科学）
諏訪 哲（循環器内科学（静岡））
古川芳明（神経学（高齢者））
宮嶋雅一（脳神経外科学（高齢者））

◎名誉教授選任

清水俊明
山高篤行
三井田孝
梶山美明
古川芳明

《訃報》

◎名誉教授

宮崎東洋（麻酔科・ペインクリニック講座）
令和 5 年 9 月 17 日逝去

関西医科大学

◎理事 / 評議員辞任

木下利彦
令和 6 年 3 月 31 日付

◎教授就任

森景則保（診療教授：心臓血管外科学講座（血管外科担当））
令和 5 年 12 月 1 日付
金井雅史（センター教授：附属病院がんセンター）
小早川高（研究所教授：附属生命医学研究所侵襲反応制御部門）
以上、令和 6 年 1 月 1 日付
内田克典（診療教授：医学部病理学講座）
令和 6 年 2 月 1 日付
平野博嗣（診療教授：医学部病理学講座）
令和 6 年 3 月 1 日付

渡邊 純（教授：医学部下部消化管外科学講座）

高田正泰（教授：医学部乳腺外科学講座）

成子隆彦（理事長特命教授：総合医療センター心臓血管病センター）

田中 亨（学長特命教授：医学部病理学講座）

入江潤一郎（診療教授：医学部内科学第二講座（糖尿病科担当））

鶴崎正勝（診療教授：医学部放射線科学講座）

加藤正樹（教授：医学部精神神経科学講座）

山崎 誠（教授：医学部上部消化管外科学講座）

海堀昌樹（教授：医学部肝臓外科学講座）

里井壯平（教授：医学部胆膵外科学講座）

土井 崇（教授：医学部小児外科学講座）

埜中正博（教授：医学部脳神経外科学講座）

甲田勝康（教授：医学部衛生・公衆衛生学講座）

宮崎浩彰（理事長特命教授（医療安全担当）：医療安全管理センター）

天神博志（理事長特命教授：附属病院脳神経外科（脳血管内治療科担当））

西村哲哉（理事長特命教授：総合医療センター網膜硝子体センター）

高橋延行（理事長特命教授：香里病院腎臓病センター）

浦上昌也（理事長特命教授：くずは駅中健康・健診センター）

野村昌作（理事長特任教授：総合医療センター血栓止血センター）

植村芳子（学長特命教授：医学部病理学講座）

嶽北佳輝（診療教授：医学部精神神経科学講座）

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

◎教授退任

善甫宣哉（理事長特命教授：附属病院心臓血管外科）

令和 5 年 12 月 31 日付

木下利彦（教授：医学部精神神経科学講座）

関本貢嗣（教授：医学部外科学講座）

浅井昭雄（教授：医学部脳神経外科学講座）

西山利正（教授：医学部衛生・公衆衛生学講座）

高橋寛二（教授：医学部眼科学講座）

杉江知治（診療教授：医学部外科学講座）

濱田 円（診療教授：医学部外科学講座）

以上、令和 6 年 3 月 31 日付

《役職員人事》

◎総合医療センター病院長

杉浦哲朗（再任）

◎香里病院病院長

岡崎和一（再任）

◎くずは病院病院長

高山康夫（再任）

◎天満橋総合クリニック院長

大宮美香（再任）

◎香里病院顧問

神崎秀陽（再任）

◎くずは病院顧問

今村洋二（再任）

◎総合医療センター病院長付特別顧問

川副浩平（再任）

◎くずは駅中健康・健診センター長

浦上昌也（再任）

◎地域医療センター長

木下秀文（再任）

◎オール女性医師キャリアセンター長

植村芳子（再任）

- ◎医学部教務部長
岡田英孝（再任）
- ◎医学部学生部長
谷川 昇（新任）
- ◎大学院医学研究科教務部長
人見浩史（再任）
- ◎倫理審査センター長
薦 幸治（再任）
- ◎卒後臨床研修センター長
伊藤量基（再任）
- ◎法人事務局長
高井 俊（再任）
以上、令和6年4月1日付

大阪医科薬科大学

《法人役員》

- ◎副理事長
濱岡純治（再任）
佐野浩一（再任）
- ◎常務理事
辻坊 裕（再任）
以上、令和6年4月1日付
- ◎理事
増田 豊（退任）
門田雅人（退任）
以上、令和6年3月31日付
佐野浩一（再任）
老田哲也（再任）
松本秀仁（就任）
濱岡純治（再任）
辻坊 裕（再任）
岡村一美（再任）
勝間田敬弘（就任）
南 敏明（再任）

◎監事

- 新井一雄（再任）
宮下準二（再任）
以上、令和6年4月1日付

《人事》

- ◎教授退任
河田 了（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

- 根尾昌志（整形外科）
- ◎専門教授退任
浮村 聡（内科学Ⅲ）
奥 英弘（眼科学）
- ◎特別職務担当教員（教授）退任
大坂直文（中央検査部）
以上、令和6年3月31日付
後藤昌弘（化学療法センター）
令和6年4月30日付
- ◎教授就任
萩森伸一（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
大槻周平（整形外科）
- ◎特別職務担当教員（教授）就任
三幡輝久（整形外科）
鈴木富雄（総合診療医学）
日下裕介（集中治療部）
以上、令和6年4月1日付

久留米大学

《事務局長就退任》

- ◎学校法人久留米大学事務局長
高木一希（退任）
令和6年3月31日付
江口訓史（就任）
令和6年4月1日付

《役職者の退任》

- ◎高次脳疾患研究所長
山下裕史朗
令和6年3月31日付

《役職者の就任》

- ◎医学部医療検査学科長
西 昭徳
- ◎先端癌治療研究センター所長
古賀浩徳（再任）
- ◎高次脳疾患研究所長
小曾根基裕
- ◎認定看護師教育センター長
古村美津代（再任）
- ◎バイオ統計センター所長
古川恭治（再任）
以上、令和6年4月1日付

《教授の退任》

- ◎医学部附属病院メディカルセンター（消化器病センター）
岡部義信（逝去）
令和5年11月14日付
 - ◎分子生命科学研究所遺伝情報研究部門
児島将康（定年）
 - ◎医学部医学科生理学講座（統合自律機能部門）
鷹野 誠（定年）
 - ◎医学部医学科病理学講座
矢野博久（定年）
大島孝一（定年）
 - ◎医学教育研究センター
安達洋祐（定年）
 - ◎医学部医学科内科講座（呼吸器・神経・膠原病内科部門）
谷脇考恭（定年）
 - ◎医学部医学科小児学講座
山下裕史朗（定年）
 - ◎医学部医学科放射線医学講座
安陪等思（定年）
 - ◎医学部医学科形成外科・顎顔面外科学講座
清川兼輔（定年）
 - ◎医学部附属病院放射線部
田中法瑞（定年）
 - ◎医学部看護学科
原 頼子（定年）
 - ◎医学部医学科産婦人科学講座
吉里俊幸（定年扱）
以上、令和6年3月31日付
- ### 《教授の就任》
- ◎医学部疾患モデル研究センター
塩澤誠司
令和5年12月1日付
 - ◎医学部医学科神経精神医学講座
本岡大道
令和6年3月1日付
 - ◎分子生命科学研究所遺伝情報研究部門
佐藤貴弘
 - ◎バイオ統計センター

安川圭司

◎医学部医学科生理学講座（統合自律機能部門）

中島則行

◎医学部医学科放射線医学講座

田上秀一

◎医学部医学科小児科学講座

水落建輝

◎医学部看護学科

桐明あゆみ

◎医学部医療検査学科

有永照子

武谷三恵

真田咲子

伴 匡人

真茅孝志

棚町千代子

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

北里大学

◎教授昇任

ウッドハムス玲子（新世紀医療開発センター・横断的医療領域開発部門）

令和 6 年 1 月 1 日付

◎教授定年退職

岩村正嗣（泌尿器科学）

坂東由紀（小児科学）

小林清典（新世紀医療開発センター・横断的医療領域開発部門）

以上、令和 6 年 3 月 31 日付

杏林大学

《医学部人事》

◎教授（就任）

矢田浩崇（教授）（循環器内科学）

大森鉄平（臨床教授）（消化器内科学）

北 善幸（臨床教授）（眼科学）
宮東昭彦（研究教授）（顕微解剖学）

佐々木茂（臨床教授）（整形外科科学）

皿谷 健（臨床教授）（呼吸器内科学）

鈴木 淳（臨床教授）（産科婦人科学）

鈴木 裕（臨床教授）（消化器・一般外科学）

谷口浩和（臨床教授）（病理学）

徳永健吾（臨床教授）（予防医学）

中野正寛（臨床教授）（精神神経科学）

早川 順（臨床教授）（皮膚科学）

松浦 稔（臨床教授）（消化器内科学）

湧川温子（臨床教授）（予防医学）

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

《病院人事》

◎医学部付属病院副院長

萬 知子

◎医学部付属杉並病院病院長

市村正一

◎医学部付属杉並病院副院長

高橋信一

楊 國昌

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

《定年退任教授》

秋元義弘（顕微解剖学）

平野浩一（呼吸器・甲状腺外科学）

要 伸也（腎臓・リウマチ膠原病内科学）

以上、令和 6 年 3 月 31 日付

川崎医科大学

《法人役員等就任》

◎副理事長

秋山祐治

令和 6 年 4 月 1 日付

《法人役員等退任》

◎監事

三宅博文

令和 6 年 3 月 30 日付

《教授就任》

永坂岳司（先端腫瘍医学）

令和 5 年 12 月 1 日付

畝 大（心臓血管外科学）

令和 6 年 1 月 1 日付

栄徳隆裕（小児科学）

神田英一郎（健康管理学）

以上、令和 6 年 4 月 1 日付

《教授退任》

阿部信寛（スポーツ・外傷整形外科）

令和 6 年 2 月 25 日付

守田吉孝（リウマチ・膠原病学）

秋定 健（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

曾根照喜（放射線核医学）

中野貴司（小児科学）

長谷川健二郎（脊髄・災害整形外科）

高尾俊弘（健康管理学）

中塚秀輝（麻酔・集中治療医学 1）

以上、令和 6 年 3 月 31 日付

聖マリアンナ医科大学

《役員等の人事》

◎退任

青木治人（顧問）

田所 衛（顧問）

大石忠生（顧問）

三宅良彦（顧問）

小宮 清（顧問）

鈴木通博（顧問）

以上、令和6年3月31日付

《教員の人事》

◎定年退職（教授）

原田智雄（循環器内科学）

國場幸均（消化器・一般外科学）
（西部病院）

相原正記（形成外科学）

以上、令和6年3月31日付

◎退職（教授）

井上靖之（血液・腫瘍内科学）（西部病院）

丸井祐二（腎泌尿器外科学）

古畑智久（消化器・一般外科学）
（東横病院）

戸澤晃子（産婦人科学（婦人科））

以上、令和6年3月31日付

◎任命

長谷川潤一（大学院教授）（周産期発生形態解明学分野）

令和5年10月1日付

水嶋崇一郎（主任教授）（解剖学（人体構造））

縄田 寛（主任教授）（心臓血管外科学（心臓血管外科））

島田勝利（主任教授）（心臓血管外科学（小児心臓血管外科））

ジェネット グレース デニソン（教授）（医学教育文化部門）

水野隆一（教授）（腎泌尿器外科学）

小泉 哲（教授）（消化器・一般外科学）

小林慎二郎（教授）（消化器・一般外科学）

牧角良二（教授）（消化器・一般外科学）

田邊康宏（教授）（循環器内科学）

出雲昌樹（教授）（循環器内科学）

樋熊拓未（教授）（循環器内科学）
（多摩病院）

小野和哉（教授）（神経精神科学）

以上、令和6年4月1日付

帝京大学

《人事異動》

◎医学部長

河野博隆（医学部整形外科学講座）（主任教授）（新任）

◎医学部附属病院病院長

澤村成史（医学部麻酔科学講座）（主任教授）（再任）

◎医学部附属溝口病院病院長

原 眞純（医学部附属溝口病院第四内科学講座）（主任教授）（再任）

◎ちば総合医療センター病院長

井上大輔（ちば総合医療センター第三内科学講座）（主任教授）（再任）

◎大学院医学研究科長

塚本和久（医学部内科学講座）（教授）（再任）

◎主任教授（昇任）

林 俊宏（医学部生理学講座）

青山晃治（医学部薬理学講座）

吉野友祐（医学部微生物学講座）

有賀悦子（医学部緩和医療学講座）

井上大輔（ちば総合医療センター第三内科学講座）

◎教授

今津博雄（医学部内科学講座）（採用）

重村克巳（医学部泌尿器科学講座）（採用）

渡邊清高（医学部内科学講座）（昇任）

鎌田昌洋（医学部皮膚科学講座）（昇任）

鈴木伸明（医学部附属溝口病院第四内科学講座）（昇任）

◎名誉教授

川村雅文

以上、令和6年4月1日付

藤田医科大学

《役員人事》

◎監事

内藤健晴（重任）

小出宣昭（重任）

以上、令和5年10月2日付

《役職者人事》

◎藤田医科大学東京 先端医療研究センター羽田クリニック院長

榛村重人（就任）

令和5年10月1日付

◎藤田医科大学病院長

白木良一（重任）

◎藤田医科大学ばんだね病院長

堀口明彦（重任）

◎藤田医科大学七栗記念病院長

大高洋平（就任）

◎藤田医科大学岡崎医療センター病院長

鈴木克侍（重任）

◎藤田医科大学高度救命救急センター長

船曳知弘（重任）

以上、令和6年2月1日付

《教授の就任》

佐藤葉子（放射線医学（先端医療研究センター））

令和5年9月19日付

井上幹大（小児外科学）

藤原祥裕（麻酔・疼痛制御学（ばんだね病院））

以上、令和6年1月1日付

磯谷澄都（呼吸器内科学）

金子慎二郎（脊椎外科学）

大宮直木（先端光学診療学（ばんだね病院））

林 正道（内科学（岡崎医療センター））

以上、令和6年2月1日付

平野 哲（リハビリテーション医学Ⅰ（七栗記念病院））

令和6年3月1日付

大野栄三郎（消化器内科学）

川田潤一（小児科学）

金尾健人（腎泌尿器外科学）

以上、令和6年4月1日付

《教授の退職》

角淵浩央（麻酔・疼痛制御学
（ばんだね病院））

令和5年9月30日付

住友 誠（腎泌尿器外科学）

令和5年12月31日付

中島 昭（生理化学）

秦 龍二（解剖学Ⅰ）

柴田知行（消化器内科学）

工藤寿子（小児科学）

園田 茂（リハビリテーション
医学Ⅱ）

中田誠一（耳鼻咽喉科・睡眠呼
吸学）

稲田健一（病理診断学）

松永佳世子（アレルギー疾患対
策医療学（寄附講座））

以上、令和6年3月31日付

《名誉教授称号授与》

園田 茂

令和6年4月1日付

兵庫医科大学

《役員の人事》

◎常務理事

阪上雅史（新任）

令和6年4月1日付

◎兵庫医科大学病院病院長

阪上雅史（退任）

令和6年3月31日付

池内浩基（新任）

令和6年4月1日付

《教授の人事》

◎主任教授就任

齊藤寿郎（生理学生体機能部門）

舟木壮一郎（呼吸器外科学）

馬淵誠士（産科婦人科学）

朝倉正紀（病態解析学）

丸茂幹雄（社会医学予防医学部
門）

森本 剛（社会医学データサイ
エンス部門）

以上、令和6年4月1日付

◎主任教授退任

長谷川誠紀（呼吸器外科学）

令和5年12月31日付

島 正之（公衆衛生学）（定年
退職）

柴原浩章（産科婦人科学）（定
年退職）

小柴賢洋（臨床検査医学）（定
年退職）

以上、令和6年3月31日付

愛知医科大学

《理事・監事の異動》

◎理事

坂本真理子（辞任）

令和6年3月31日付

若杉里実（就任）

令和6年4月1日付

《教授・特命教授人事》

◎採用

菱田朝陽（公衆衛生学講座教授）

宮田 淳（精神科学講座教授）

以上、令和5年10月1日付

宮地 茂（経営戦略推進本部特
命教授）（嘱託）

令和6年4月1日付

◎昇任配置換

渡辺員支（産婦人科学講座教授）

中山享之（輸血部教授）

以上、令和6年4月1日付

◎退職

梅澤一夫（分子標的医薬寄附講
座教授）

令和6年1月12日付

中村二郎（先進糖尿病治療学寄
附講座教授）

令和6年3月31日付

◎定年退職

山森孝彦（外国語教授）

宮地 茂（脳神経外科学講座教
授）

若槻明彦（産婦人科学講座教授）

福沢嘉孝（先制・統合医療包括
センター教授）

渡辺秀人（分子医科学研究所教
授）

以上、令和6年3月31日付

《教授（特任）人事》

◎採用

伊藤嘉規（小児科学講座）

吉田昌弘（骨盤・四肢外傷センター）

以上、令和5年10月1日付

◎配置換

西原真理（疼痛緩和外科）

令和5年10月1日付

安藤博彦（内科学講座（循環器
内科））

令和6年4月1日付

◎昇任

橋本貴宏（数学）

仙石昌也（物理学）

有信哲哉（化学）

池野正史（生物学）

鈴木 進（研究創出支援センター）

以上、令和5年10月1日付

川井 恒（放射線医学講座）

令和6年4月1日付

◎退職

中出幸臣（内科学講座（肝胆脾
内科））

令和6年1月31日付

中野雄介（内科学講座（循環器
内科））

令和6年3月31日付

◎定年退職

小松孝行（感染・免疫学講座）

令和6年3月31日付

愛知医科大学 ドクターヘリ運航 20 周年記念シンポジウム開催



座談会の様子

愛知医科大学病院は、平成14年1月に全国で4番目にドクターヘリ運航事業を開始し、令和4年1月で運航20周年を迎えました。

令和5年12月10日（日）大学本館たちばなホールにおいて、これまで安全運航を継続してきた一つの節目として「ドクターヘリ運航20周年記念シンポジウム」を開催しました。

始めに、救命救急科の渡邊栄三部長から開会のあいさつがあり、大村秀章愛知県知事、認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワー

ク（HEM-Net）の鷺坂長美理事長からご祝辞を賜りました。続いて、衆議院議員で、日本医科大学特任教授である松本尚先生により、「ドクターヘリ～これまでとこれから～」というテーマで基調講演が行われました。わが国におけるドクターヘリ導入実現に力を尽くされ、ドクターヘリによる病院前救急診療の第一人者でもある松本先生には、ドクターヘリの過去・現在・未来についてや、先生ご自身が携わってきたドクターヘリの普及・啓発のための活動などについて、大変分かりやすくご講演いただきました。最後に、ドクターヘリ導入時に大きな役割を果たされた野口宏名誉教授、井上保介客員教授、坂田久美子看護学部臨床教授、中日本航空株式会社航空事業本部付専任部長の丹羽政晴氏により、「愛知医科大学病院におけるドクターヘリコプター導入の経緯と必要性」というテーマで座談会が行われ、20年を振り返りながら、当時の苦労話や今後のドクターヘリが果たすべき役割について意見が交わされました。

当日は愛知医科大学病院における歴代功労者や、県内の医療機関、消防機関などから約200名の参加がありました。

自治医科大学

《役員の異動》

◎理事

村井嘉浩（就任）
令和5年12月7日付
春山早苗（退任）
令和6年3月31日付

《大学の人事》

◎副病院長

竹下克志（退任）
西野 宏（退任）
新保昌久（退任）
以上、令和6年3月31日付

讃井將満（就任）

小池創一（就任）

以上、令和6年4月1日付

◎図書館長

武藤弘行（退任）
令和6年3月31日付
長田太助（就任）
令和6年4月1日付

◎卒後指導部長

岩崎容子（退任）
令和6年3月30日付

金沢医科大学

《人事異動》

◎教授／講座主任

水田秀一（総合内科学）（就任）
令和6年4月1日付
犀川 太（小児科学）（退職）
令和6年3月31日付

《訃報》

和藤幸弘名誉教授は、令和5年11月13日に逝去されました。

獨協医科大学

《学校法人獨協学園の人事》

◎理事の就任（新任）

金子昌子（副学長）

任期：令和6年4月1日～令和9年8月1日

《役職者の就任》

◎学長

吉田謙一郎（再任）

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

◎副学長

奥田泰久（新任）

種市 洋（再任）

金子昌子（再任）

小橋 元（再任）

以上、任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

杉本博之（新任）

任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

◎事務局長

坂本悦男（再任）

任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

《教授の就任》

佐久間理吏（大学病院再生医療センター）

令和5年12月1日付

室山良介（微生物学）

今井陽一（内科学（血液・腫瘍））

白石秀明（小児科学）

水島恒和（外科学（下部消化管））

中山次久（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

飯田拓也（形成外科学）

山下真幸（情報基盤センター）

中川剛士（大学病院乳腺センター）

以上、令和6年4月1日付

東海大学

《役職者の就任》

◎常務理事、病院本部本部長

飯田政弘

◎副学長（医系担当）、医学部長、メディカルサイエンスカレッジ・プロボスト、病院本部副本部長（教育研究担当）

森 正樹

◎病院本部副本部長（診療）、医学部付属病院長、医学部副学部長

渡辺雅彦

◎病院本部副本部長（事務）、病院本部病院運営企画室室長、医学部付属病院副院長・事務部長

原 義徳

◎病院本部本部長補佐（情報システム）、医学部付属病院副院長、診療情報部部長

小川吉明

◎病院本部本部長補佐（感染対策）

浅井さとみ

◎病院本部本部長補佐（医療危機管理）

中川儀英

◎病院本部本部長補佐（卒前教育）

濱田昌史

◎病院本部本部長補佐（卒後教育）

鈴木秀和

◎病院本部本部長補佐（企画調整）

吉澤 大

◎医学部副学部長、大学院医学研究科長

秦野伸二

◎医学部副学部長、医学部医学科長

川田浩志

◎医学部副学部長、医学部付属病院副院長（筆頭）

大上研二

◎医学部副学部長

竹下 啓

小澤秀樹

吉川隆博

◎医学部付属病院副院長

吉岡公一郎

浅野浩一郎

鈴木武志

◎医学部付属東京病院長

海老原明典

◎医学部付属東京病院副院長

白石光一

◎医学部付属八王子病院長

野川 茂

◎医学部付属八王子病院副院長

鈴木孝良

鈴木育宏

内山善康

《教授就任》

渡辺恒二（基礎医学系生体防御学）

紙谷聡英（基礎医学系分子生命科学）

浅井さとみ（基盤診療学系臨床検査学）

後藤和人（基盤診療学系臨床検査学）

垣本由布（基盤診療学系法医学）

鬼塚真仁（内科学系血液・腫瘍内科学）

駒場大峰（内科学系腎内分泌代謝内科学）

岡田健一（外科学系消化器外科学）

金子順一（外科学系消化器外科学）

高橋雅道（外科学系脳神経外科学）

酒井大輔（外科学系整形外科）

小路 直（外科学系腎泌尿器科学）

野村弘行（専門診療学系産婦人科）

五島史行（専門診療学系耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

鈴木崇弘（専門診療学系眼科学）

網野真理（総合診療学系救命救急医学）

《臨床教授就任》

森田典成（内科学系循環器内科学）

鍋島一仁（外科学系消化器外科学）

以上、令和6年4月1日付

協会及び関係団体の動き

令和5年5月開催の第124回総会に於いて、本協会会長に選任された小川 彰先生（岩手医科大学理事長）は、国会関係者並びに政府をはじめとする省庁関係者と精力的に面談・会合を重ねると共に、文部科学省「今後の医学教育の在り方に関する検討会」委員、厚生労働省「医師養成過程を通じた医師偏在対策等に関する検討会」委員に就任し、今後の我が国の教育・研究・国民医療の充実・発展に関して活動されてきた。令和5年12月より入院されて治療に

あたって来られてきていたが、令和6年3月3日にご逝去された。小川先生は我が国に於ける研究力の拡充並びに消費税の損税解消問題と地域医療の充実に特に力を注がれて来ていた。

本協会は、3月14日開催の臨時理事会並びに第126回総会に於いて、後任の会長に、炭山嘉伸先生（東邦大学理事長）を選任した。今後は、炭山嘉伸新会長の下、新執行部により本協会は私立医科大学を巡る諸問題に積極的に対応していく。

I. 自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」（会長：塩谷 立衆議院議員）（令和5年11月1日）開催から政府予算成立までの動向について

去る令和5年11月1日、衆議院第二議員会館において、自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」が開催された。本協会より、小川 彰会長、小口勝司教育・研究部会担当副会長、栗原 敏顧問・理事、永田見生総務・経営部会担当業務執行理事、坂本篤裕病院部会担当業務執行理事、小山信彌参与が出席した。

はじめに、自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」会長である塩谷 立衆議院議員より、以下の通り挨拶があった。

1. 大学病院が「教育」「研究」「診療」を通じて、医学・医療の中核としての重要な役割を果たしていただいていることに感謝申し上げること。
2. 大学病院を取り巻く環境については、医師の働き方改革、物価高騰等の様々な要因に伴い、経営状況が厳しくなっていることは十分認識しており、令和5年度補正予算並びに令和6年度予算編成において、議連としていかに支援をしていくかを協議しているところであり、引き続き尽力していくものであること。

続いて、文部科学省高等教育局長並びに医学教育課長より、文部科学省「今後の医学教育の在り方に関する検討会」（座長：永井良三自治医科大学学長）に於ける『中間取りまとめ』の概要並びに令和6年度予算概算要求等に関する説明があった。

また、厚生労働省医政局長より、令和6年度予算概算要求については、医師の働き方改革に係る大学病院への支援に関して、文部科学省とも連携し、大学病院が担う機能を維持できるよう財政措置の充実

に向けた対応として「医師・医療従事者の働き方改革の推進」として95億円を要求している旨の説明があった。

その後、「大学病院を取り巻く課題」についてのヒアリングが行われ、全国医学部長病院長会議（会長：横手幸太郎千葉大学医学部附属病院長）、国立大学病院長会議（会長：横手幸太郎千葉大学医学部附属病院長）、本協会から説明を行った。

小川 彰会長からは、本協会加盟大学において、新型コロナウイルス感染症が我が国に発生以降、国策に準じて国民医療の保全・充実に誠意をもって対応し貢献していること、同感染症が2類から5類に移行してからも医療従事者・職員が新型コロナウイルス感染症に罹患並びに濃厚接触によって出勤停止となる事例が増加して来ており、引き続き、心筋梗塞並びに脳梗塞等の救急患者並びに通常診療に十分に対応できない事例があることを理解いただきたいことの説明を行った。更に、我が国の研究力低下が著しいこと、日本の高等教育への公的支出がOECD加盟国中最低であること、研究力低下の原因の1つとして、国立大学運営費交付金、私立大学では経常費補助金の減額が挙げられる等の説明を行い、大学経営の安定化のためには、教員の処遇改善、高等教育への公財政支出をOECD平均並みにすること、運営費交付金並びに経常費補助金の増額、大学病院においては他の病院とは違う消費税のゼロ税率あるいは軽減税率への転換を図ることについて理解を求めた。（図1、図2、図3）

【図1】

「トップ10%論文」で
日本は過去最低を更新

順位	国名	論文数(本)
1 (1)	中国	5万4405
2 (2)	米国	3万6208
3 (3)	英国	8878
4 (4)	ドイツ	7234
5 (5)	イタリア	6723
6 (7)	インド	6031
7 (6)	オーストラリア	5186
8 (8)	カナダ	4632
9 (9)	フランス	4210
10 (11)	韓国	4100
11 (10)	スペイン	3987
12 (13)	イラン	3770
13 (12)	日本	3767

研究力低下が著しい

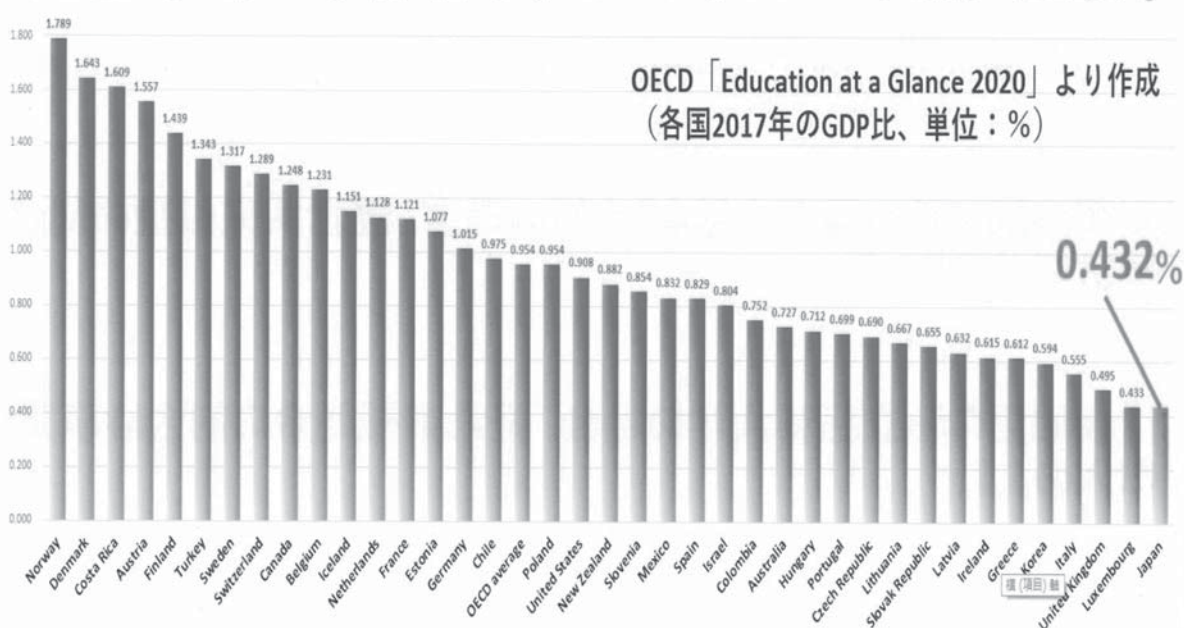
年々順位を落としている

科学技術指標2023
科学技術・学術政策研究所
文部科学省

※科学技術指標2023から。
順位の()は前回順位

【図2】

日本の高等教育への公的支出はOECD最低
OECD平均の半分以下、ノルウェーの4分の1以下



【図3】

研究力低下の原因の1つ

国立大学では運営費交付金の減額

私立大学では経常費補助金の減額

附属病院を持つ国立大学42大学の場合、運営費交付金の割合は
経常収益の26.8%

協会加盟の私立医科大学の場合、経常費補助金の割合は事業活動
収入の2.5%

出席した国会議員より質問並びに指摘事項が述べられ、今後対応すべき諸施策について意見交換を行った。意見交換の後、議事進行を務めた三ツ林裕巳衆議院議員により「大学病院における令和6年度予算等の編成に関する決議（案）」が読み上げられ、本議連はこれを了承した。

主な決議内容は以下の通り。

- 令和6年度診療報酬改定において、今般の物価高騰や賃金上昇、人材の確保等への対応も踏まえ、大学病院の機能向上に資する診療報酬上の適切な評価を図ること。
- 医師の働き方改革を推進しつつ、大学病院に求められる教育・研究機能を確保し、高度な医療を将来にわたって提供することができるよう、教育・研究機能の維持・強化や最先端の教育・研究設備等の整備など、大学改革推進等補助金・研究拠点形成費等補助金の確保・充実を図ること。
- 地域の医療機関に対する医師派遣の充実や医師の労働時間短縮など、大学病院における勤務環境の改善等が一層推進されるよう、地域医療介護総合確保基金における支援の充実を図ること。
- 医学部を有する私立大学等において、より有意かつ高度な医療人材の養成や、より高質な臨床研究等の推進に係る教育研究活動を支えるための私立大学等経常費補助金の確保・充実を図ること。

決議の了承後、三ツ林裕巳衆議院議員より、各要望並びに意見を認識し、大学病院が役割を十分に果たせるよう議員連盟として努力を行うとともに、決議の取扱いについては塩谷 立議連会長に一任する旨が述べられた。更に、塩谷 立議連会長から、今

回の意見交換により当面の課題と将来解決すべき問題点の整理ができたこと、今後も引き続き議論をして行きたいとの総括があり、本決議文は財務省に提出する予定である旨が報告され、本議連を終了した。

自由民主党「大学病院を支援する議員連盟総会」の終了後、令和5年11月2日に政府は「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を閣議決定した。

経済対策の財政措置として、入院時の食費の基準が長年据え置かれ、介護保険とも差が生じている状況を踏まえて、診療報酬の見直しに向けた検討を行うことと併せ、それまでの間、早急かつ確実に支援を行うとした。更に、科学研究費助成事業の基金化の拡充、学術論文等の即時オープンアクセスの加速化、研究・教育に資する基盤整備のための附属病院を含む大学等における最先端研究・教育設備の導入等を支援するとした。

これに伴い、令和5年度文部科学省補正予算では、高度医療人材養成事業（医師養成課程のための教育環境整備）として140億円が計上された。また、令和6年度予算においては、高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）として21億円（事業期間：令和6年度～令和11年度の6年間）が計上された。

令和6年度厚生労働省予算では、「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業」として国が95億円、地方が47億円とする公費143億円が計上された。

今回の閣議決定では、これまで議連並びに関係各方向に対して本協会が要望してきた項目についても財政措置をされることになった。

Ⅱ. 武見敬三厚生労働大臣との面談（令和5年11月14日）について

令和5年11月14日に小川 彰会長、炭山嘉伸副会長、小山信彌協会参与が武見敬三厚生労働大臣との面談を行った。

令和6年度診療報酬改定における改定率のアップ並びに大学経営の安定化のためには、教員の処遇改善、高等教育への公財政支出をOECD平均並みにすることが必要であることを説明した。

国立大学では運営費交付金の減額並びに私立大学では経常費補助金の減額が行われており、年々厳しい経営状況に置かれていることが、日本の研究力低下の一因となっていること。更に附属病院を持つ国立大学42大学の場合、運営費交付金の割合は法人の経常収益の26.8%であること。これに対して本協会加盟の私立医科大学の場合、経常費補助金の割合

は法人の事業活動収入の2.5%となっていることから、経常費補助金の増額を求めた。（図1、図2、図3）

消費税問題については、大学病院において一般病院等とは違う医療法上の独立した類型にした上で、消費税のゼロ税率あるいは軽減税率の導入を図ることについて理解を求めた。

大学病院の経営状況についても説明を行い、大学病院が担っている高度医療人材の養成、新しい医療技術の研究・開発、地域の中核的な医療機関としての機能・役割を維持していくため、医師の働き方改革の円滑な実現や医療基盤の整備に重要な改定となることから、令和6年診療報酬のプラス改定を要望した結果、財務省の0.25%増に対して診療報酬医科本体の0.88%増という改定率となった。



武見敬三厚生労働大臣との面談



左より、小川彰会長、武見敬三厚生労働大臣、炭山嘉伸副会長、小山信彌参与

Ⅲ. 自由民主党「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟」（会長：田村憲久衆議院議員）（令和6年3月4日開催）への対応について

去る令和6年3月4日、自由民主党「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟」が開催された。

本協会からは、炭山嘉伸副会長、小山信彌協会参与が会場出席し、また、栗原 敏顧問・理事、永田見生業務執行理事、坂本篤裕業務施行理事、小風 暁昭和大学医学部長がWebにより出席した。

本協会より、大学病院に勤務する医師は診療に注力しなければならない状況にあり、教育・研究に充てる時間が十分に確保できない状況にあること。また、国立大学運営費交付金と私立大学等経常費補助金との格差是正の必要性について意見を述べた。

田村憲久議連会長からは、大学病院の医師は他の医療機関よりも低い報酬で勤務していることは認識しており、これを是正しない限り、大学病院勤務医の確保は困難ではないかとの意見が述べられた。

出席した国会議員から、①患者が支払う医療費が安すぎるのではないかと、②医師確保対策において、専攻医がどれくらい大学に戻ってきているかについて把握する必要がある、③その際に採用上限数（シーリング）がどの程度影響を与えているのかを踏まえ

て議論する必要がある、などの意見が出された。

文部科学省並びに厚生労働省が医師の働き方改革に伴う予算を計上したことからも、同議連に参加する国会議員並びに関係省庁からの大学病院に対する現状の理解が進んでいることが確認できた。



自由民主党医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟

Ⅳ. 医師の働き方改革への対応について

令和6年2月1日、全国医学部長病院長会議（会長：横手幸太郎千葉大学長）は、医師等の宿日直許可基準及び医師の研鑽に係る労働時間に関する考え方についての運用に当たっての留意事項について情報提供を行った。これを受けて、本協会は、医師の働き方改革に関する考え方についての情報提供の周知に

努めた。

全国の臨床系教員数は、国立大学は43校で7,485名（26.8%）、公立大学8校で2,199名（7.9%）、私立医科大学は31校で18,198名（65.3%）（全国医学部長病院長会議調べ：国際医療福祉大学含む）であり、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ総数の

割合と同等である。また、現時点での本協会加盟大学附属病院は86病院（本院30病院、分院56病院）となっている。

私立医科大学の臨床教員の働き方が、大学病院の使命である診療・教育・研究への対応に重要な方向性を示すこととなることから、本協会は同改革の施行前・施行後（今後実施予定：時期は未定）の状況を把握することとした。

更に、私立医科大学における女性医師の急増に伴

い、男女共同参画のみならず、多様な働き方、ダイバーシティ活躍の観点を踏まえた加盟大学附属病院に勤務する医師の意識調査を実施し、医師の働き方改革、医師の診療科間・地域間偏在の解消に向けた課題の分析を行うこととした。

本アンケート調査実施に際しては、厚生労働省並びに文部科学省、全国医学部長病院長会議と連携しながら行っていくものである。

V. 厚生労働省「医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会」（座長：遠藤久夫学習院大学学長）について

令和6年1月29日、厚生労働省は医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会を設置し、第1回を開催した。

医師の偏在対策や需給問題については、「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会」等で議論されており、地域における医師確保の状況も踏まえながら、医学部臨時定員の在り方が検討されてきた。

この中で医学部臨時定員については、医療計画の策定を通じた医療提供体制や医師の配置の適正化と共に検討する必要があるため、「第8次医療計画等に関する検討会」等の検討状況を踏まえ検討する必要があるとされた。その後、医療計画に関する検討

が一定の取りまとめをされたことを踏まえ、地域枠をはじめとした医師養成過程を通じた地域偏在・診療科偏在について検討することとした。

また、医師の偏在対策を議論するにあたり、医学部臨時定員の在り方についても一体的に検討することとした。

今後の検討課題として、①医師増加ペースについての検討、②医師不足感の原因への対応、を主な項目としており、短期的課題と長期的課題に分けて、令和7年夏ごろに中間とりまとめを行い、令和8年春ごろに最終取りまとめを行う予定である。

VI. 自見はなこ内閣府特命担当大臣との面談（令和6年4月22日）について

令和6年4月22日、炭山嘉伸会長、坂本篤裕病院部会担当業務執行理事、小山信彌協会参与は、自見はなこ内閣府特命担当大臣と面談を行った。新型コロナウイルス感染症患者症例別受入総数と関連した教職員の出勤停止状況、医師の働き方改革に関する諸問題、令和6年能登半島地震への支援の実態、卒前卒後のシームレスな医学教育、将来における臨床研修制度の在り方等についての意見交換を行った。



左より、小山信彌参与、炭山嘉伸会長、自見はなこ内閣府特命担当大臣、坂本篤裕担当理事、小栗典明事務局長

VII. 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

本協会は、新型コロナウイルス感染症患者受入れ総数について、継続して調査を行っている。

令和5年12月31日現在の本協会加盟大学30大学84病院の新型コロナウイルス感染症患者受入れ総数は87,268名となった。令和5年11月31日現在の患者受入れ総数85,903名と比較すると、1,365名

の増加となった。【グラフ①】

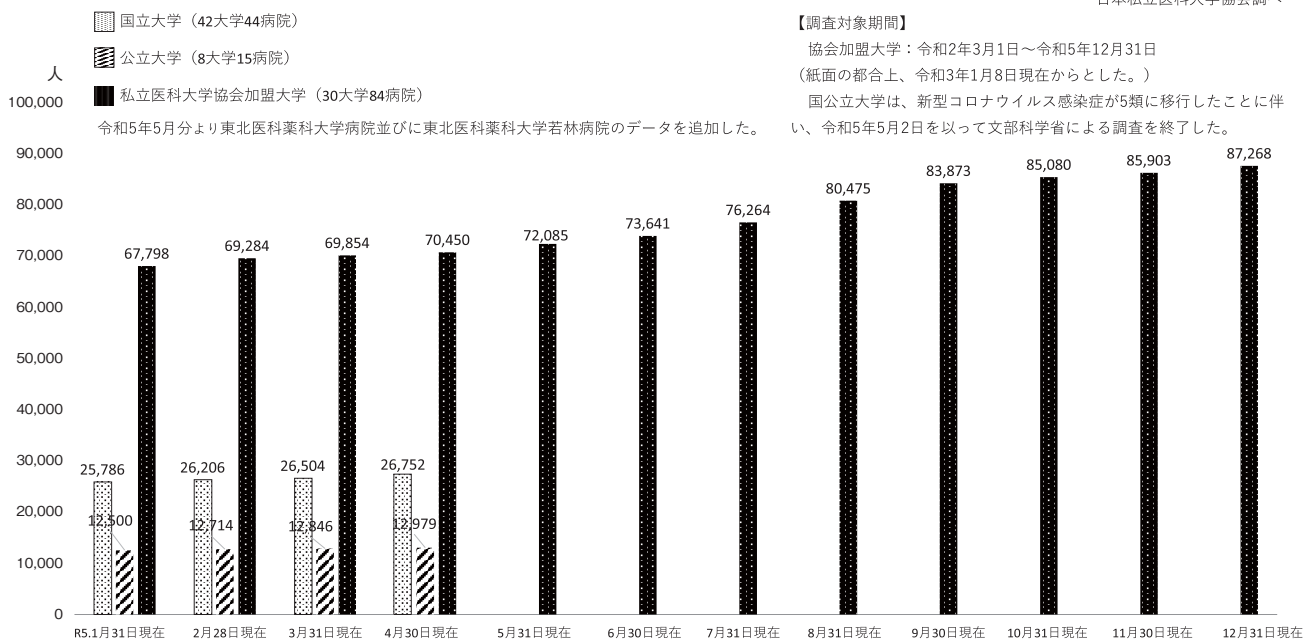
また、今般の新型コロナウイルス感染症への対応に関連して、本協会は加盟各大学附属病院における医療従事者・職員が、新型コロナウイルス感染症に罹患並びに濃厚接触によって出勤停止となった延人数を取りまとめている。

【グラフ①】

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ総数の推移について（累計）

令和 6 年 4 月 2 5 日

日本私立医科大学協会調べ

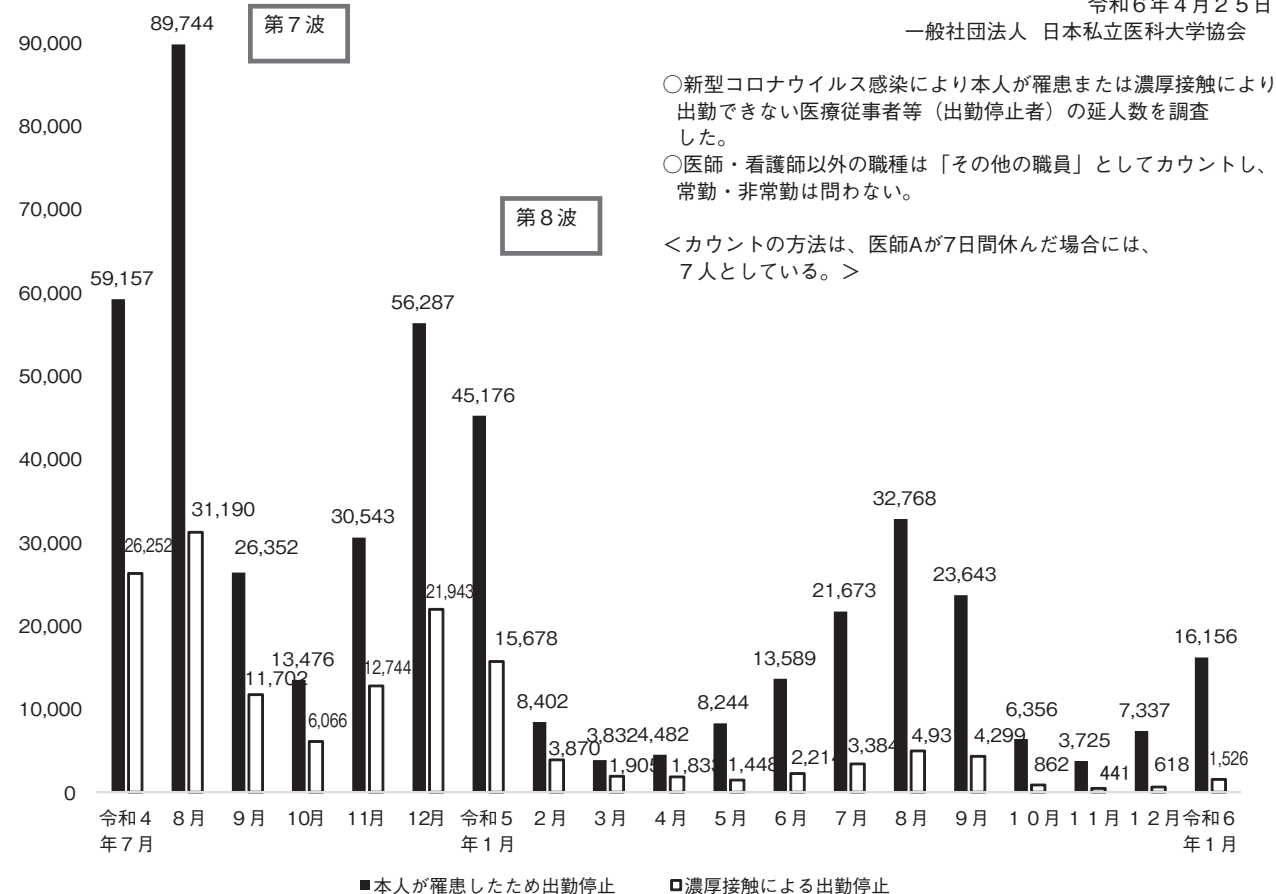


【グラフ②】

加盟大学附属病院における出勤停止状況に関する調査（本院30病院・分院56病院合計数）

令和 6 年 4 月 2 5 日

一般社団法人 日本私立医科大学協会



第7波が始まった令和4年7月から令和6年1月分までの状況を推移として取りまとめた。【グラフ②】
令和6年1月を見ると、本人が罹患したため出勤停

止となった医療従事者は16,156名、濃厚接触による出勤停止となった医療従事者は1,526名となっている。

VIII. 令和6年能登半島地震に伴う医師等派遣状況について

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、加盟各大学は各々が対応され、支援の取組が行われている。

これに伴い、各大学が同地震の被災地に向けて、どのような支援・援助を続けているかについて、発災直後の令和6年1月1日から31日までの状況についてアンケート調査を行った。

本協会加盟大学附属病院（本院・分院）において、182チームの派遣があり、派遣人数654名、派遣延べ人数3,595名となった。

加盟各大学がいかに被災地医療支援への貢献をしているかを示すデータであり、特に分院も地域医療を担う中で重要な役割を果たしていることがわかる。

【図4】

令和6年能登半島地震に伴う医師等派遣の状況調査結果

一般社団法人 日本私立医科大学協会

対象期間：令和6年1月1日～31日

【派遣人数のカウント方法】

医師5名、看護師1名、臨床心理士1名、事務1名のチーム構成で支援を行った場合、それぞれの職種について人数をカウントした。

【派遣延べ人数のカウント方法】

例えば、医師1名が1月3日から6日（4日間）まで支援を行った場合、4日間×1名＝4名を派遣延べ人数としてカウントした。

	チーム数	派遣人数（名）	派遣延べ人数（名）
合計	182	654	3,595
平均	6	23	124

一般社団法人日本私立医科大学協会 賛助会員一覧（※順不同）

中外製薬株式会社	株式会社スズケン	大塚製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社	株式会社メディセオ	テルモ株式会社
エーザイ株式会社	大鵬薬品工業株式会社	パラマウントベッド株式会社
アステラス製薬株式会社	株式会社日建設計	パラテクノ株式会社
アルフレッサ株式会社	株式会社LIXIL	ケンブリッジフィルターコーポレーション株式会社
第一三共株式会社	東邦薬品株式会社	EPSホールディングス株式会社
塩野義製薬株式会社	株式会社LSIメディエンス	株式会社イチ・イー・エルシステムズ
住友ファーマ株式会社	株式会社アルメックス	グリーンホスピタルザプライ株式会社
協和キリン株式会社	株式会社日経サービス	株式会社教育広報社
Meiji Seika ファルマ株式会社	アイティーアイ株式会社	今井印刷株式会社

地球の健康とすべての人々の
健康で豊かな生活に貢献したい。
それが私たちスズケンの
壮大なテーマです。



Amenity Scape Creation 快適空間の創造

みどりとおもひる

目比谷アメニスは、ここにやさしい環境を求めて快適空間を創造し
ゆとりある社会の実現に向けて努めます。



株式会社 目比谷アメニス

東京都港区三田4-7-27 〒108-0073
TEL.03-3453-2401 FAX.03-3453-2426
URL <http://www.amenis.co.jp>

東関東支店：千葉県千葉市稲毛区轟町 5-7-32 Tel：043-254-1122
仙 台 支 店：宮城県仙台市青葉区二日町 13-18-605 Tel：022-217-0252
名古屋支店：愛知県名古屋市中区錦 2-10-13 SC 錦 ANNEX6F Tel：052-229-0137
大 阪 支 店：大阪府大阪市西区江戸堀 1-8-14 Tel：06-6441-6041
九 州 支 店：福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25 Tel：092-282-2881



広く、そして深く…。
アウトソーシングの専門企業として
レベルの高い、新しいサービスを追及しています。

中材業務・看護補助業務・手術部環境保全業務／
人材派遣・病院清掃／その他

株式会社 日経サービス

本 社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目17番10号 南船場NSビル
TEL：06-6268-6788（代表） FAX：06-6268-0388

東京支店 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目3番13号 鈴木ビル
TEL：03-5283-0061 FAX：03-5283-0062

<http://www.nikkei-service.co.jp>



すべての人に、いきいきとした生活を
創造しお届けします。

alfresa

アルフレッサ株式会社

〒101-8512東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル13F・14FTEL.03-3292-3331(代)



全ては健康を願う人々のために

わたしたちは社会・顧客と共生し、
独創的なサービスの提供を通じて
新しい価値を共創し、世界の人々の
医療と健康に貢献します。



共創未来グループ
東邦薬品株式会社

〒155-8655
東京都世田谷区代沢 5-2-1
TEL.03-3419-7811
<http://www.tohoyk.co.jp/>

流通価値の創造を通じて 人々の健康と社会の発展に貢献します。



株式会社 メディセオ



広報誌 **医学振興**

第 98 号

令和 6 年 5 月 16 日発行

発行人 炭山嘉伸
編 集 一般社団法人 日本私立医科大学協会
広報委員会
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 1 階
TEL(03)3234-6691 FAX(03)3234-0550
印 刷 今井印刷株式会社

＜広報委員会＞

担当副会長	明石勝也
担当理事	永田見生
委員長	永田見生
委員	栗原敏
委員	小口勝司
委員	松田剛明
委員	冲永寛子